

## ＜研究開発・事業提携＞

### ■ 地上波デジタルテレビ放送の高感度受信技術を開発

2006年初頭に開始される地上波デジタル放送。当社は携帯機器向けの放送を、安定して受信できる高感度の受信技術を開発しました。携帯型液晶テレビでのアナログテレビ放送受信技術を基に、3Dイコライザー制御、自動アダプティブ・ウイング制御、近接ダイバーシティ制御という新開発の技術を採用することにより、高速道路や新幹線等での高速移動中や、電波状況が悪い通勤電車内でも安定した視聴を可能としています。この回路を内蔵したLSIの開発を富士通(株)と共同で進めており、またこのLSIを搭載した携帯電話用小型チューナーの開発も開始しております。

### ■ ルネサス テクノロジと半導体技術で提携

当社と(株)ルネサス テクノロジは、製品の小型化に有効な半導体実装技術「WLP(ウエハーレベルパッケージ)」技術を、当社がルネサス テクノロジにライセンス供与することで合意しました。当社のWLP技術供与は、国内半導体メーカーに向けては初となります。



### ■ 超高精細2.2インチVGA液晶を開発

当社は独自のHAST(Hyper Amorphous Silicon TFT)技術を用いて、2.2インチの画面にVGA(640×480ピクセル)表示が可能な超高精細液晶ディスプレイを開発。368ppiの高精細表示でありながら、同じ大きさのQVGA(320×240ピクセル)パネルと同等の輝度を、消費電力を増やさず実現しています。また従来パネル以上の高コントラスト、広視野角も達成しました。PC用Webページの表示や、広範囲にわたる地図表示など、モバイル機器の利便性を大きく向上させる技術です。



### ■ 液晶パネル一体型指紋センサーデバイスの開発

当社では、従来から好評のTFT(薄膜トランジスタ)技術を応用した指紋センサーデバイスを進化させ、液晶パネル一体型の指紋センサーデバイスの開発に成功しました。センサーと一体となっている液晶パネル部に指を乗せると、バックライトからの光で指紋の凹凸を検出します。水にぬれた指や乾燥肌の指も読み取れ、静電気にも強いという特徴を持っており、また表示パネルとセンサーが一体となっていることから、実装スペースが限定される携帯電話のサブ液晶部などへの応用が期待されます。



## ＜イベント＞

### ■ 2006 FIFA ワールドカップ ドイツ アジア地区最終予選オフィシャル タイミング パートナー協賛

当社は2006 FIFA ワールドカップ ドイツ アジア地区最終予選に、オフィシャルタイミング パートナーとして協賛。アジア地区最終予選とプレーオフを含む27試合にオフィシャルタイミングパートナーとして、各試合の経過時間表示に対して広告協賛します。



### ■ 2006 FIFA ワールドカップ ドイツ プロダクトライセンス契約締結

当社は国際サッカー連盟(FIFA)と2006年6月より開催される2006 FIFA ワールドカップ ドイツのプロダクトライセンス契約を締結しました。今後、2006 FIFA ワールドカップ ドイツの大会エンブレム・FIFAブランドロゴなどをあしらった時計(ウォッチ・クロック等)を独占的に商品化し、全世界に向けて販売してまいります。



### ■ カシオワールドオープン 開催地変更

「カシオワールドオープンゴルフトーナメント」は、1981年の第1回以来の開催地である鹿児島県の「いぶすきゴルフクラブ開間コース」からコースを変更し、2005年には高知県安芸郡の「Kochi 黒潮カントリークラブ」にて開催されることが決定されました。太平洋を一望できる壮大な景観にて、従来にも増して白熱した戦いが期待されます。



## ＜グループ会社情報＞

### ■ カシオマイクロニクス

携帯電話やデジタルカメラなど高密度実装が要求される分野における認知度がさらに高まり、W-CSPの売上が順調に推移。また配線の微細加工に優れたフィルム基板であるCOF(Chip On Film)において需要が拡大。2004年度の売上高は前期比11.2%増の236億円、当期純利益は同40.8%増の10億円となりました。